

いちご
(1) 耕種的防除法等

病 害 虫 名	防 除 適 期	防 除 方 法
萎 黄 病	定植前	○ 苗は、無病地の親株から取り、無病苗を定植する。 ○ 仮植前に苗根部をトップジンM水和剤またはベンレート水和剤で1時間浸漬する。 ○ 発病株は早期に抜き取り、適切に処分する。 ○ 発病畑では、全株を集めて適切に処分する。 ○ 排水をよくする。 ○ 高温の時は遮光などにより地温を下げる。
萎 凋 病	定植前 生育中 収穫後	○ 排水を良くし、土壌が多湿にならないようにする。 ○ 連作をしない。 ○ 苗は、無病地の親株から取り、無病苗を定植する。 ○ 発病株は早期に抜き取り、適切に処理する。 ○ 発病畑では、全株を集めて適切に処理する。
ウイルス病	定植前 定植後	○ 親株は毎年フリー苗に更新する。 ○ シルバーストライプマルチにより有翅アブラムシの飛来を抑制する。
うどんこ病	生育中	○ 冷たい風が直接ハウスに入らないように換気を工夫する。 ○ 冬期間は日中やや高温に管理する。 ○ UV-B電球形蛍光灯を夜間に3時間照射することでうどんこ病に対して抵抗性を高めることができる。
菌 核 病	定植前 生育中	○ 連作をしない。 ○ 地表面のビニールマルチを行う。 ○ 休耕中でも地表面にマルチを行うと良い。
じゃのめ病	育苗期	○ 被害葉は早期に摘み取り焼却する。 ○ 雨よけ育苗にする。 ○ 極端に肥料が切れないように管理する。
炭 疽 病	親株ほ～ 育苗期 育苗期 定植前 定植時 生育中	○ 親株は毎年更新する。 ○ 親株ほおよび苗床を雨よけにする。 ○ 頭上灌水を避け、茎葉に水がかからないようにチューブを用いて灌水する。 ○ 病原菌は降雨などの水によって伝染する。 ○ 葉はほ場内に放置せず、土中に埋めるか焼却する。 ○ 発病株や疑わしい株は直ちに抜き取り、適切に処分する。 ○ 発病株は直ちに抜き取り、適切に処分する。 ○ 育苗スペースを十分にとり、通気性を良くする。 ○ 高温時の採苗はさける。
根 腐 病	定植前 定植時	○ 排水を良くする。 ○ 連作をしない。 ○ 無病苗を定植する。
灰色かび病	生育中	○ 通風を良くして、多湿にしない。 ○ 被害葉や被害果はできるだけ早期に摘み取り、ハウス内に放置しないで焼却する。
芽 枯 病	定植前	○ 連作をしない。 ○ 無病苗を選んで定植し、深植を避ける。